

JOIN OUR CO-CREATION

共創を募る

丸井グループは、人と社会にポジティブな影響を与える「インパクト目標」を掲げてビジネスに取り組んでいます。そして、その創出のために欠かせないのは、「共創」だと考えています。丸井グループ単独ではなく、あらゆる人と共に歩み、共に創ることで、初めてより良い未来は実現できるのです。

丸井グループでは、さまざまな新規事業や新規プロジェクトが実験的に生まれています。ここでは、それぞれが描く世界観やめざす未来、それに向けたプロジェクト内容をご紹介します。私たちがめざす未来や想いに共感してくださった方、社会にとって価値のある「インパクト」を共に起こしませんか。

OMEMIE

オンライン出店サービス

(株)COUNTERWORKSと共に「小売の民主化」というミッションのもと、誰もがオフラインにチャレンジしやすい環境を整えるサービスとしてオンライン出店サービス「OMEMIE(おめみえ)」を立ち上げました。スペース検索から問い合わせ、契約までの手続きがすべてオンラインで簡単に完了できます。今までリアル店舗に出店することをあきらめていた個人や小規模事業者を含むすべての事業者のニーズにお応えし、イベントから常設出店まで全国のマルイ・モディ店舗への出店が可能となります。



西澤 佳乃 | YOSHINO NISHIZAWA
2016年丸井グループ入社
(株)丸井 テナントサクセス推進室

「OMEMIE」をご利用いただいたテナントさまからは、「今まで出会えなかったお客さまに商品やサービスを知ってもらえた」とうれしいお言葉をいただいています。最終的には、「OMEMIE」での出店がSNSのアカウント開設と同じくらい簡単になり、誰もがリアル店舗の出店にチャレンジしやすい環境をつくっていきたくと思っています。さらに、リアル店舗とオンラインがリアルタイムで連動するOMO(オンラインとオフラインの融合)企画を実現したいです。一方的な提供ではなく、SNSで写真やショート動画を取り入れたリアルタイム参加型のコンテンツを提供し、お客さまと事業者の相互コミュニケーションを生み出したいと考えています。



「OMEMIE」の3つの特徴



「OMEMIE」公式サイト

CO-COONO

リノベーション賃貸住宅

2020年7月に(株)ツクルバと資本業務提携を結び、リノベーション賃貸住宅ブランドを共に創出しています。2022年6月には、ワークスペース付きコミュニティ型リノベーション賃貸マンションブランド「co-coono(ココノ)上北沢」をオープンしました。将来世代を応援するために共用部に併設したワークスペースをご活用いただくことで、個のエンパワーメントの実現につなげます。



諸 亜由美 | AYUMI MORO
2011年丸井グループ入社
(株)okos TSUKURUBA事業部(2023年3月時点)
(2023年4月より事業をマルイホームサービスへ移管)

ツクルバさまと共に手がけるプロジェクトでは、将来世代の入居者さまの自己実現を応援するとともに、新築ではなく古い物件をリノベーションすることでCO₂排出量を削減し、脱炭素社会をめざしています。入居者さまからは、入居者同士の新しい出会いや環境に配慮した住まいであることに、多くの高評価をいただいています。さらにプロジェクトを拡大させていくためには、リノベーションを普及させるためのアイデアや、一緒に取り組むパートナーが必要です。また「一人ひとりのしあわせを共に創る」という両社が実現したい世界観に賛同する方々と一緒にプロジェクトを推進していきたいです。



「co-coono上北沢」のワークスペース



「co-coono」公式サイト

FUTURE ACCELERATOR GATEWAY

将来世代との新規事業創出

IT教育プログラム運営のライフイズテック(株)との共同で始動した大学生・大学院生対象の新規事業創出プログラムです。

始動年月: 2020年10月
開催目的: 将来世代との新規事業創出
応募対象: 大学生・大学院生(それに準ずる年齢18~24歳)

プログラム紹介

広く新規事業のアイデアを募り、学生の皆さまと丸井グループ社員がチームを組み、約3カ月間にわたり起業家メンターのもとで新規事業アイデアをブラッシュアップしていきます。企画発表・表彰(デモデー)当日は、著名な実業家の方々や当社代表 青井が審査員を務めます。将来世代の皆さまの「こんな事業を実現したい!」という熱い想いを形にするため、充実したサポート体制でプログラムを実施しています。



メンター
鶴岡 裕太 | YUTA TSURUOKA
BASE(株) 代表取締役 CEO

「Future Accelerator Gateway」ならではだと感じたのは、将来世代のメンバーが社会課題解消型のアイデアを提案しているところです。インプットのスピードが早く、メンタリングを通じてアドバイスしたことにプラスし、自分たちなりのアップデートを毎回反映していて、すごく刺激を受けました。社会課題の解消には長い時間と労力が必要なので、この先、たくさんの時間を持っている将来世代の皆さんと一緒に取り組むことがとても大切だと思っています。その際、僕らの世代とはまた違う新しい発想で解決されていくと思うので、それがすごく楽しみです。次は、実際にそれぞれのチームのアイデアをアクションに落とし込んで実行できるかが課題だと思います。皆さんのアイデアを実現できれば、まさしくこのプログラムが社会課題を解消するゲートウェイになるのだと思います。



「Future Accelerator Gateway」公式Twitter